

チーム名	Mr.Chikamorin	大学名・学部	慶應義塾大学 文学部 社会学専攻	北陸ステージ
プラン名称	北陸古民家物語（仮）～会員制古民家で「懐かしさ」を感じる北陸体験～			
テーマ	北陸ならではの資源を活かした広域周遊型の「持続可能な観光まちづくり」			優秀賞 2位
リーダー名	深田 健太郎	メンバー名	池田 真菜、山田 すみれ、山本 菜生	
指導教職員名	近森 高明教授			

北陸古民家物語（仮）～会員制古民家で「懐かしさ」を感じる北陸体験～

1. プラン概要

既存事業：会員制古民家サービス

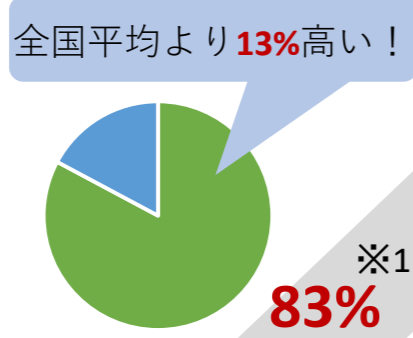
×

新規性：3県の古民家を利用できる

2. 問題意識

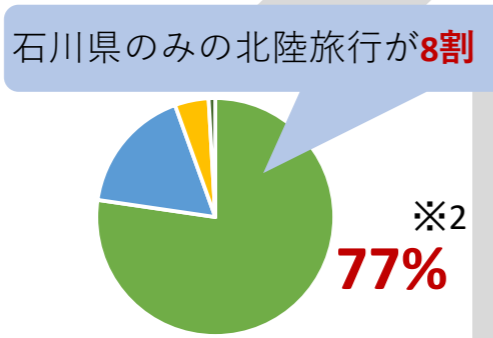
① 空き家問題

- ・北陸は全国に比べて「空き家率」が高い
- ・特に管理不十分な空き家の割合が高い



② 観光先の偏り

- ・北陸の「広域周遊」が浸透していない
- ・特に「石川県」「金沢市」に集中



3. 解決策

古民家のサブスク

① 空き家問題

- ・古民家が収益化され、管理費用が捻出できる
- ・所有者に空き家の新たな活用法を提示

② 観光先の偏り

- ・サブスク制度でリピーターを増やせる
- ・3県の宿を利用した、広域周遊ができる

4. 事業の詳細

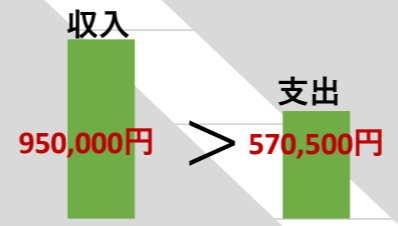
会員制古民家サービス

主催者：NPO法人
 地元の人とともに、地域全体でのプロジェクトに観光客と地元の人との交流

年会費・宿泊料を徴収 → 古民家維持費の確保

1組15,000円 1人1泊3,000円

小浜町家ステイ(福井県)のインタビューを元に、年間50名の来客数として収入を試算
 支出は古民家の維持管理費用



古民家が需要に合致

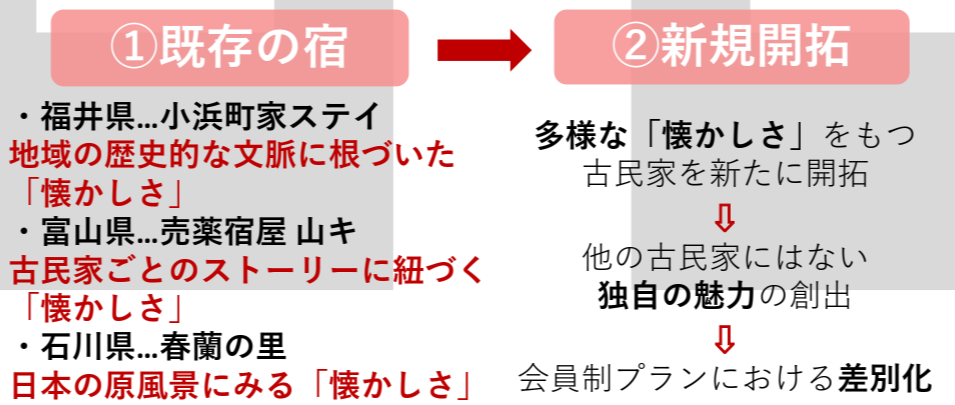
ターゲット：家族連れ

- ① 家族連れの需要 「部屋食&貸切風呂」「自然体験ができる」宿の人気
- ② ニューノーマル対応 貸切で「感染対策」は万全 親のテレワーク ・ワーケーションも

5. 3県の古民家宿事例

～ 既存の宿の活用 + 新規古民家の開拓 ～

共通コンセプト：「懐かしさ」



6. 「まちコン」との親和性

- ① 北陸独自の暮らしの魅力 「薬売り」「里山」「町家」の「懐かしい」暮らし
- ② 広域周遊型 サブスクを利用し、1～数年で3県を周遊
- ③ 持続可能性 ・会員制 ・リピートの促進で人との縁ができる
- ④ 国内外の観光客に対応 多様な料金プラン
- ⑤ 新しい生活様式 ワーケーションが可能

7. メリット

- ① 北陸の問題解決
 - 1. 空き家問題の解決
 - ・空き家の適切な管理
 - ・空き家の観光資源化
 - 2. 観光先の偏りの解決
 - ・3県の暮らしを生かした宿で差別化
 - ・サブスクで3県を周遊
- ② 観光客の獲得
 - ・サブスク×宿泊の需要の高まりに合致 例)別荘サブスクサービスに、1週間で1,000人が応募！ ※3 SANU 2nd Homeの事例
 - ・サブスクでリピーター増 手軽に周遊/北陸への愛着
- ③ 地元への価値提供
 - コミュニケーション創出
 - 観光客×地元の人 リピーターの増加
 - 地元の人×地元の人 地域コミュニティ活性化

「懐かしさ」と北陸の魅力を感じる空間を提供
 観光客1人1人の「懐かしさ」の物語を
 作り上げられるプランに...!

参照URL：
 ※1) <http://www.hrr.mlit.go.jp/kensei/machi/akiya/pdfdata/01hokurikutihouniokeruakiyamo ndainogenjoutokadai.pdf>
 ※2) http://toukei.pref.ishikawa.jp/dl/3788/ishikawa_kankou_toukei2019.pdf
 ※3) <https://www.fujingaho.jp/lifestyle/a37427394/subscription-stay-210915/>